

足利風 -ashikaga-fu

2022
6月号
Vol.80



画：中山キッコ

足利市民活動センター

開館時間：平日 10:00～19:00

休館日：土・日・祝日・第3月曜日

〒326-0052

栃木県足利市相生町1-1

足利市生涯学習センター3F

TEL 0284 (44) 7311

FAX 0284 (44) 7312

Mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

HP QR コード



☆ ご案内 ☆

- *特集!
「味噌汁」と「避難所」
- *TOPICS
「かんのん讃歌」感激!
- *私のボランティアことはじめ
「こんなまちに住みたい!!」
- *サークル紹介
「黎明座」で和太鼓を!
- *INFORMATION

* 特集！ *

「味噌汁」と「避難所」

東日本大震災から11年が経った。・復興の明日へ光となる桜・・悲しみの月日包みて風五月・・。

料理研究家の土井善晴・光さん親娘が、「避難所の味噌汁」という心温まる文章を書いている～「避難所生活が長くつづいて、避難者たちは何より温かいものを食べたがっている」という声に答えての一文だ。「私たちも避難者の方々と一緒に味噌汁を作ろうと思っていました。大量調理が難儀になるのは、アレルギー・異物混入といったあらゆる食品事故のリスク等々を考えると、10人分の味噌汁づくりが一番良いだろうと



思いました。2～3家族分で10人。カセットコンロ・大きめのアルマイト鍋・玉じゃくし・小さな包丁があれば子どもたちだって作れるのです。作りたては美味しいに決まっているのです。人間はお料理をすれば元気が出るし、みんなで温かい味噌汁を食べれば、ホットできると思います。味噌汁は作り置きせずにサッと作るのが一番美味しいもの。おいし

さと安心はイコール。作りたてはだんぜん身体にもよいのです」。

ここ数年「子ども食堂」が急速に普及している。2016年に全国で319ヶ所だったのが、2019年には3718ヶ所に増えている。畏友・湯浅誠が述べているように児童館数4,000とほぼ同数だ。確かに日本の子どもの相対的貧困率は7人に1人（2015年）ではあるが、「子ども食堂」は、湯浅誠が語るように、貧困家庭の子どものためという目的だけで成り立ってはいない。子どもから高齢者までの、地域の交流活性化（ダベリ場）という目的も含めた、言わば二本足で立っている実践でもあることを、私たちは忘れてはいけない、とも思う。

地域における「子ども食堂」の実践も含めて、土井善晴さんの“料理”についての言葉は重い～「お料理は人間とつながり、未来の私になるのです。現代の私たちは、何を信じて生きていくのかと問われています。一汁一菜には未来があると信じます。」

(M生)

* TOPICS *

相田みつを「かんのん讃歌」感激！

“あなたがそこに ただいるだけで その場の空気が あかるくなる
あなたがそこに ただいるだけで みんなのところが やすらぐ
そんな あなたにわたしも なりたい”

2月19日（土）足利市民活動センターは、相田みつをの世界に満たされた。まちの縁側「かんのん讃歌」は、相田さんが曹洞宗雑誌「禅の友」に連載されたエッセイを中心にしたもので全編、観音さまの微笑に溢れたもの。参加者は博識感性豊かな方たちばかりで、文人・清水比庵と相田みつをの関わりも披瀝され興奮のうちに余韻を残しながらの散会となった。素晴らしい企画だった。

私のボランティアことはじめ

「こんなまちに住みたい !!」

しみず こういち

東日本で最も古い木造建造物の国宝寺院のある まち
古典の能・狂言・声明・雅楽が日常で鑑賞できる まち
日本医学中興の祖 田代三喜と曲直瀬道三が学んだ まち
縁結びの織姫神社と最強の縁切神社角田稻荷のある まち
東の小京都とたたえられる風光明媚な落ちつきのある まち
「にげんだもの」の著作で知られる書家・詩人の住んだ まち
鮎がたくさん獲れ、奈良朝廷に献上した記録の残る清流の まち
歌手 森里千里さんのヒット曲「渡良瀬橋」の歌詞に登場する まち
室町幕府 23 8 年間の初代征夷大將軍家尊氏公の祖先達の安住の まち
伊勢神宮式年遷宮に伴って解体された総檜を再構築した八雲神社のある まち
2000 年九州沖縄サミットの首脳晩餐会の乾杯用に選ばれたワイナリーのある まち
鎌倉幕府征夷大將軍源頼朝と奥州を平定した副將軍が浄土庭園を造り民の安寧を祈った まち
奈良の大仏造立の総責任者行基僧正が大仏殿に続き、大岩山最勝寺を建立した まち
国際ニュースで選ばれた藤で有名なフラワーパーク、来場者 100 万人を数える まち
徒然草第二一六段、執権北条時頼から一献所望された武將が余生を過ごした まち
源頼朝の妻北条政子から源氏の正統として授けられた名刀を寺宝物とする まち
絹織物銘仙の産地で、トリコットの編み物でも生産量で日本一になった まち
日光連山の南端の温暖な土地、縄文前期から連綿と居住に選ばれた まち
古伊万里と鍋島の名品を世界最大級に収集する陶磁器美術館のある まち
平安時代の英雄平将門を討った藤原秀郷の勝利を祈願した寺のある まち
弥生人も古墳時代の人々も群れて親しんだ遺跡や古墳が多数残る まち
明治期 堀込町に住んでいた堀込源太が八木節を創始・披露した まち
NHK 交響楽団や、佐渡裕指揮の公演会が定期的に行われる まち
中世の英雄八幡太郎義家ゆかりの下野国一社八幡宮のある まち
日本最古の学校で国宝の書籍を有する遺跡図書館のある まち
葛飾北斎の諸国名橋奇覧に描かれたくもの架け橋のある まち
江戸時代 表千家不白流の家元が茶室物外軒を建てた まち
百年間にわたり二万発もの花火が夜空をいろどる まち
ここは どのまち ???



サークル紹介

★「黎明座」で和太鼓を！

東日本大震災被災地支援ボランティア活動などで注目された和太鼓集団「黎明座」です。年間通して、足利だけでなく各地からお呼びがかかり演奏をしています。

ぜひ私たちの仲間になって一緒に和太鼓をやりませんか！

*各クラス定員 15名 *受講料：月額¥4000（税込み）

■黎明座事務局：〒326-0005 足利市大月町1328-3 代表・川久保研二

TEL：090-8646-3949 FAX：0284-42-1836



* INFORMATION *

(※コロナ感染対策により内容が変更・中止になる場合があります。)

☆「まちの縁側」～読書サロンへのご招待～

だれにでも心に残る一冊の本があります。童話・小説・詩集・・・等々。

その一冊の本を導きの糸として、案内人を囲んで、参加者のみなさんと一緒に、ワイワイガヤガヤ・・・と。新しい人との出会いや物語を紡いでみませんか。

★令和4年 6月18日(土) 13:00～15:00

*本 : 「まちづくりの実践」(田村 明)

*案内人: 堀越 悠斗 さん

*ひとつこと:「まちづくり」!と言えば田村 明さんです。自然の豊かさや歴史・文化や風土などの地域の個性を生かした「まち」をつくるためには何が必要なのか?全国各地のユニークなまちづくりの実践例を検証し、我がまち・足利を豊かで住みやすい「まち」にするためのアレコレを一緒に考えてみましょう! ぜひご参加を!

★令和4年 7月 9日(土) 13:00～15:00

*本 : 絵本「生きる」(谷川俊太郎・詩/岡本よしろう・絵)

*案内人: 中島 由貴子 さん

*ひとつこと:谷川俊太郎の詩「生きる」が初めて絵本になりました。生きていること、いま生きていること・・・と、さまざまな人生の瞬間の情景を重ねる有名な詩です。小学生のきょうだいと家族が過ごす、ある夏の一日を描き、私たちが生きる「いま」ととらえます。何気ない日常の大切さを感じるコロナの日々に・・・ぜひ一緒に!

■参加費:無料

■会場/問い合わせ:足利市民活動センター ☎44-7311

☆企画展 (交流コーナー)

*5月23日(月)～6月 2日(木) 足利のフリーペーパー展

*6月 6日(月)～6月16日(木) 彩美会水彩画展

*6月21日(火)～6月30日(木) 「顔の石」展

*7月 4日(月)～7月14日(木) フード・イラスト展

*7月20日(水)～7月28日(木) SDGsの世界展

※展示時間・・・10:00～19:00 ただし最終日は15:00まで

(土・日・祝日・第3月曜日は休館日)

☆相談室&講座

*相談室 = 毎月第2・第4水曜 14:00～16:00

*講座 = 毎月1回

※詳しくは、別紙参照

編集後記

年が明けて半年が過ぎようとしています、いかがお過ごしでしょうか。季節の変わり目は何かと慌ただしいですが、いつものように、手洗い・うがい・マスクを忘れずに。気持ちだけでも爽やかに、明るく過ごせたらな、と思う今日この頃です。
(すずうさぎ)